



急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが始まりました

令和7年4月7日から急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが始まり、令和7年第15週(4月7日～4月13日)からの「感染症発生動向調査週報」に「急性呼吸器感染症」が追加されましたので、お知らせします。

1. 急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection:ARI)とは

急性呼吸器感染症(ARI)とは、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

2. 急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスについて

急性呼吸器感染症(ARI)は、飛沫感染等により周囲の方にうつしやすいことが特徴です。

急性呼吸器感染症の流行の動向を把握することや、仮に未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知することが可能となるよう、感染症法の5類感染症に位置付けられました。

急性呼吸器感染症(ARI)定点医療機関は、「咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来患者」を報告します。

3. 北九州市内の定点医療機関の数の変更について

感染症法改正に伴う感染症発生動向調査事業実施要綱の改正により、人口割合により指定される定点医療機関の数が変更されたことから、北九州市の定点医療機関数が、令和7年4月7日以降、下記のとおり変更されました。

変更前(令和7年4月6日まで)

定点種別	報告対象疾患
【旧】インフルエンザ／COVID-19 定点(35)	● 新型コロナウイルス感染症 ● インフルエンザ
小児科定点(24)	● RSウイルス感染症 ● 咽頭結膜熱 ● A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ● 感染性胃腸炎 ● 水痘 ● 手足口病 ● 伝染性紅斑 ● 突発性発しん ● ヘルパンギーナ ● 流行性耳下腺炎

()は医療機関数

変更後(令和7年4月7日以降)

定点種別	報告対象疾患
【新】ARI 定点(23) 追加	● 新型コロナウイルス感染症 ● インフルエンザ ● 急性呼吸器感染症(ARI)
小児科定点(13)	● RSウイルス感染症 ● 咽頭結膜熱 ● A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ● 感染性胃腸炎 ● 水痘 ● 手足口病 ● 伝染性紅斑 ● 突発性発しん ● ヘルパンギーナ ● 流行性耳下腺炎

()は医療機関数

※眼科定点、性感染症定点、基幹定点の名称及び医療機関数の変更はありません。

(問い合わせ先) 保健福祉局保健企画課(担当: 吉野、河崎)
電話: 093-522-5721